



- 大学教員（日本大学 生物資源科学部）
- 主な活動地域：神奈川

山寄 高洋 様 上級

取得ポイント 学生の指導には上級が必要でした。

この資格取得のきっかけや動機は何ですか？

まずは、私自身の環境問題に対する研究活動の、より明確な位置づけを行うことが目的です。また、認定校担当者として、学生へこの資格取得と大学で学んでいる内容との関係性を明示するためでもありました。担当者である私が上級を取得することにより、学生への説明「日々の学習が環境再生医としての基礎となり、卒業研究等を通して社会の課題と自分ができることを

考えることが、初級者としての一步である」を、より実感させやすくなったと思います。また、今後も本学科から多くの環境再生医を輩出し、活動実践者を増やしていくためにも、上級の取得は必須でした。



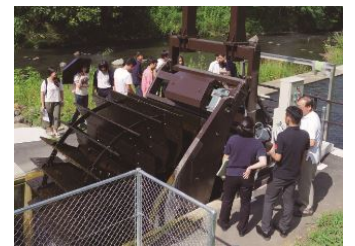
どのようなご活動をされていますか？

環境再生医（初級）認定校である日本大学生物資源科学部生物環境工学科にて、教育と研究の両面から活動しています。環境教育を主体に、座学と実験・実習に連続性や関連性を持った講義の展開、継続性のある卒業研究の指導を行っています。また、初級取得を目指す学生には、上級者（教員）と研究を行うことで、「環境再生医」という大きな括りの中で、各自の役割を見つけ出すよう指導しています。



テキストや講習はいかがでしたか？

テキストの改定（第3版）に伴い、新たに、東日本大震災に関する項目が盛り込まれました。これにより、今、本当に環境再生そして環境修復が必要なのだと、痛感する内容となったと思います。また、最新の情報を収集し、新しい手法で活動するためにも、テキストや講習内容はとても有益な情報源だと思います。



この資格をどのように活かしていますか？

主に認定校担当者として活かしています。具体的には、1年生への資格と認定校の説明、2年生には科目の役割解説、3年生には講習会等の開催、そして、4年生には実践の導入となりますが、このように大学4年間すべてに於いて、環境再生医上級者として学生と対応しています。



環境再生医のお仲間へ

資格の価値を高めるには、各自の活動などを通して、有資格者自身で知名度を向上させていくことも必要だと思います。ぜひ、皆さんとともに、まずは有資格者1万人を目指して、この資格を広く伝えていけたら幸いです。

